

殴る蹴るだけが暴力ではありません！



DVとは

配偶者・パートナーなど親しい間柄で起こる暴力のことです。中でも、交際中の男女間で起こる暴力をデートDVと言います。

- ▶ 身体的暴力…殴る、蹴る、叩く、髪をひっぱるなど
- ▶ 精神的暴力…暴言を吐く、怒鳴る、無視するなど
- ▶ 経済的暴力…生活費を渡さない、家計を厳しく管理するなど
- ▶ 性的暴力……性的な行為を強要する、避妊に協力しないなど
- ▶ 社会的暴力…人付き合いを制限する、交友関係を監視する、スマートフォンの履歴チェックなど

暴力は許されない

暴力はその対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず決して許されるものではありません。特に、パートナーなどからの暴力、ストーカー行為、セクハラ、性暴力などは、著しい人権侵害で、女性が被害者になる割合が高いです。



ひとりで悩まず相談を

- ▶ DV相談ナビ(☎ #8008)
- ▶ DV相談+
24時間受け付けの電話
(☎ 0120-279-889)
プラス相談箱(24時間受け付け)
チャット(受付12時～22時)



- ▶ 府中市子育て応援課(☎ 44-9146)
時月～金曜…8時30分～17時15分
- ▶ 広島県東部こども家庭センター
(☎ 084-951-2372)
- ▶ 年末年始を除く、休日・夜間相談
(☎ 082-254-0399)
時▶月～金曜…17時～20時 ▶土・日曜、祝日…10時～18時

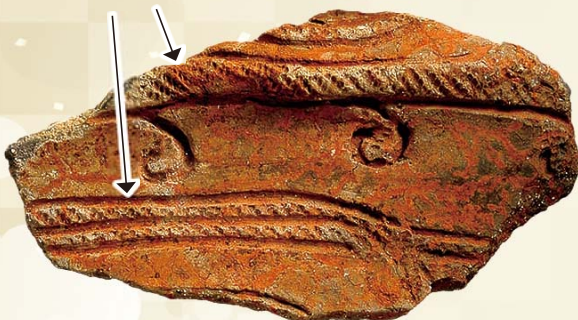
問子育て応援課(☎ 44-9146)

ふちゅう 歴史散歩 Vol.175

縄文土器をよく見ると、その表面に縄目の模様がついたものがあることに気づきます。

この模様は、麻などの植物繊維を撚り合わせて作ったひもを、土器の表面に押し付けたり転がしたりしてつけたものです。

つづつづがよく見える
きれいな縄目



府中市から出土した縄文土器

縄文人に挑戦

～意外に難しい縄文のひも作り～

問教育政策課(☎ 44-9024)

職員が挑戦！



実際に縄文人のように職員がひも作りに挑戦してみました。撚りがうまくかけられず、すぐほけてしまい大変苦戦しました。なんとか完成したひもは不格好で、残念なひもでした。

縄文土器を観察すると、縄目の模様がきれいに整ったものが多い中、ときどき少し不格好なものも見られます。そんな土器を見ると、当時の人々も苦勞していたのかと思え、親しみを感じられます。

府中市歴史民俗資料館では、縄文土器が展示されており、ひも作りの体験もできます。ぜひ縄文時代の技術を実感してください。

現代人も挑戦



つづつづがよく見える



見えない